

まごころこめて磨き合う なまづっこ



「なかまと まごころこめて すすんで やりぬく子」
～学び磨き・こころ磨き・健康磨き～

2024.5.31 発行

美しく温かい言葉が響き合う学校

若葉が初夏の日差しに輝き、つばめが低く飛び交う姿をみる季節となりました。

登校してくる子どもたちが、とびきりの明るい笑顔で「おはようございます。」「今日は楽しいことがあるのだよ。」と話してくれます。また、太陽の時間には、すぐに運動場に出てボール遊びや鬼ごっこを楽しく会話しながら遊ぶ姿、昼休みにはスポーツフェスティバルの練習に、アドバイスや応援しながら自主的に取り組む姿にも活気があり、大変うれしく思います。

さて、日本語は、世界的に見ても習得が難しいと言語と言われています。それは、日本語は言葉の意味や漢字と平仮名が組み合わさるだけでなく、日本語の曖昧な表現方法、敬語使用方法など、覚えることが多いためだそうです。しかし、日本語は言葉の美しさにおいて1、2位とも言われています。英語には訳せないような独特の表現や日本ならではの美しい響きの言葉があり、聞いているだけで心が澄んだり、どこか想いを馳せてしまったりするようなことはありませんか。

思っていることや考えていることを、いつも友達のように話して伝えられたら、これほど簡単なことはありません。しかし難しいからこそ美しいということもあるのではないのでしょうか。子どもたちが敬語を使っている場面に出会うと、成長を感じ、嬉しくなります。「ありがとう」「さようなら」という言葉にも、気持ちが込められている言葉に、優しさが感じられます。これからも、時と場に合わせて、敬語を使ったり挨拶をしたりするなど、美しい言葉が響き合う学校を創っていきたいと思います。

授業参観、ありがとうございました

なかよし活動、たのしみです

5月11日(土)に、今年度最初の「授業参観」がありました。子どもたちは、お家の方に授業の様子を参観していただき、緊張しながら、大変頑張っていました。学校では「見通しをもって粘り強く取り組むこと」「自分の考えを広めたり深めたりすること」「考えを明確にし、自分のものにすること」を大切にしています。



5月17日(金)に、「1年生と親しむ会」を開きました。この日を迎えるまでに、6年生はなかよし班ごとに会の段取りを考え、5年生は1年生にメッセージを送りました。児童会企画委員会では、全体会の企画をし、練習に取り組んで当日に臨みました。

当日の第一部では、「自己紹介」を行いました。なかよし班で名前と好きなものを伝え合いました。間話の話をじっくり聞く姿から、相手を思う気持ちが伝わってきました。第二部では「なまづっこクイズ」を行いました。短い準備期間ではありましたが、全校が楽しむことのできる内容を考えたので、みんなが充実した時間を過ごすことができました。

「楽しかったよ。」
「みんなと仲良くなれたよ。」
「頑張った自信がついた。」
等活動後にはそれぞれ思いをもつことができました。一歩ずつ成長していくなまづっこを頼もしく感じました。

